

フランス農業開発研究国際協力センター (CIRAD) による オレンジ病害対策の共同研究に参画

サントリーホールディングス(株)と、サントリー食品インターナショナル(株)傘下のサントリー食品ヨーロッパ社は、オレンジの収穫量が低下する要因の1つとされる「カンキツグリーンング病」への対応を見据え、フランス農業開発研究国際協力センター(CIRAD)によるオレンジ病害対策の共同研究に参画します。

カンキツグリーンング病は、オレンジなどの柑橘類が感染する細菌性の病害で、形や味など果実の品質低下を引き起こします。昨今、オレンジの収穫量が年々減少しており、その理由の1つとされています。今回の共同研究では、今年から6年かけてカンキツグリーンング病への耐性が向上したオレンジ品種の開発・栽培に取り組む計画で、順次、スペイン、ブラジル等で適応性の検証を開始します。

サントリーグループは、世界で製造・販売するさまざまな清涼飲料にオレンジ果汁を使用していますが、今回の共同研究は当グループで使用するオレンジの安全・安心、安定的な調達にとどまらず、オレンジのグローバルなバリューチェーン全体にも貢献し得る重要な取り組みであると考えています。

●サントリーホールディングス(株) グローバルソリューション部長

Brian Golden コメント

本研究への参画は、農業の持続可能性に尽力したい当社の姿勢を示すものです。カンキツグリーンング病への対応を研究することで、オレンジの安全・安心で、安定的な供給を目指します。また、バリューチェーン全体に適用できる革新的な解決策を模索し、中長期的な地域社会への課題解決支援にも取り組んでいきます。

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

水と生きる **SUNTORY**

以 上

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。

さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらす、社会にとっての水であること。

社員一人ひとりが水のように自在にすなやかに挑戦できる会社であること。

「人間の生命(いのち)の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。